

あとがき



あとがき

平成3年7月から事業に着手した「仙塩広域都市計画事業 仙台港背後地土地区画整理事業」については、土地区画整理事業の一つの節目となる換地処分のお知らせを昨年10月31日に行い、これを記念し11月10日には竣工式を挙げる事ができました。

平成6年の仮換地指定以降、地権者の方々の建物の移転や、道路・公園・上下水道等の公共施設や宅地の基盤整備工事、保留地の販売等を進めてまいりましたが、東日本大震災発生の影響などもあり、実に23年にわたる長き期間を要し、ようやく完成を迎えるに至ったものです。

この間、仮換地指定に伴う権利者との調整、建物の移転補償交渉、営農希望者の集約、埋蔵文化財の発掘調査、土壌汚染への対応、保留地の販売促進、保留地・換地の共同利活用、仙台港ICの誘致、センター地区の利活用、大幅な事業費の増額や事業期間の延伸など、数多くの困難な課題に対し、創意工夫、努力を重ね、一つ一つ解決を図りながら事業を進めてまいりました。

当地区をめぐる様々な歴史の中でも、未曾有の被害をもたらした東日本大震災による影響は特に大きいものでしたが、県内の津波被災地の中ではいち早く復旧が進み、現在では目覚ましい発展を遂げ、県全体の復興を牽引している状況となっています。事務所が総力を挙げて災害復旧に取り組み、地権者の方々や企業の方々など関係者が一丸となって復興に取り組んでこられたからではありますが、一方で、仙台港ICや都市計画道路、都市公園などの次代へ誇れる基盤整備が充実し、職住分離が実現した土地利用が図られていたことも大きかったのではないのでしょうか。現在、県・被災沿岸市町において進めている「災害に強いまちづくり宮城モデル」が先取りして

実現されており、この先進的なまちづくりを計画、推進してきた背後地事業に関わった全ての方々の先見の明、御尽力に対し、改めて敬意を表すものです。

事業開始時点では、更地が広がっていた当地区も、現在では多くの企業の方々に進出いただき、約9割近い宅地が有効活用されています。3月1日の常磐自動車道路の全線開通、三陸自動車道の延伸や4車線化、7月の水族館の開館など、今後も明るい話題が続く見込みで、当地区の立地条件の良さや交通網の充実、広い敷地といった魅力が一層注目を浴びています。当地区が仙台都市圏の物流拠点のみならず、地域交流拠点としても、本県はもちろん東北全体の経済発展に中心的役割を果たし、今後、益々活気ある『まち』に成長し続けるものと期待されています。

この度、事業竣工を迎えるに当たり、当事業の原点となった仙台港建設当時から現在までの事業経過を振り返り、後生に貴重な足跡を残すべく本事業誌を作成することといたしました。

土地区画整理事業は都市計画の母と称され、総合的なまちづくりを促進する最も効果的な手法と言われ、これまでの市街地整備に数多くの実績がありますが、難解な手続きも多く、関係者の苦勞の絶えない事業でもあります。この背後地事業にはこの区画整理の、特に公共団体施行の全てのノウハウが詰め込まれていることから、本事業誌では、区画整理に携わる担当者が実務上の参考図書としても活用できるよう、区画整理特有の手続きを実例も交えて掲載しています。

さらに、主要な懸案事項もなるべく多く盛り込むこととし、公表を前提としているために核心部分を回避した表現となっている箇所もありますが、社会・経済情勢の変化などで計画変更などに柔軟に対応せざるを得なかった関係者の苦勞や苦悩を読み取っていただけるように記載しています。

事業実施にあたって、幾多の困難を乗り越え、現在の当地区の発展をみるに至りましたのは、ひとえにこれまで事業に関わってこられた県・仙台市を始め、多くの関係機関の皆様方の御努力の賜であり、その功績に対して感謝を申し上げるとともに、本事業誌を通して、関係した一人一人の方々が当時を振り返っていただき、皆様方の御苦勞の上に、現在の「港地整栄」があることを実感していただければ幸いに存じます。

最後になりますが、先祖代々受け継いでこられた貴重な土地を、減歩という形で御協力いただいた地権者の方々の御理解や、土地区画整理審議会及び評価委員会の歴代委員の皆様方の御尽力、関係機関の皆様方の御協力に対し、心から感謝と御礼を申し上げ、本書が単に当事業関係者の思い出アルバムに留まることなく、現在、被災沿岸市町において、一日も早い住宅再建・産業再生に向けてまちづくり事業に取り組まれている方々にとっても、事業遂行上の一助となることを祈念して、結びのごあいさつといたします。

平成27年3月

宮城県仙台港背後地土地区画整理事務所

所長（第13代目） 後藤 寿信

港地整栄 (宮城県知事 書)

「港」「地」「整」「栄」という4文字は、仙台港背後地が土地区画整理事業により、東北を代表する地域として生まれ変(換)わり、未来永劫栄えるよう祈念するもので、村井宮城県知事による書。

港地整栄

仙塩広域都市計画事業 仙台港背後地土地区画整理事業 事業誌

発行日 平成27年3月

編集発行 宮城県仙台港背後地土地区画整理事務所

〒985-0841 宮城県多賀城市鶴ヶ谷一丁目4番1号

宮城県土木部都市計画課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

仙台市都市整備局都市開発部区画整理課

〒980-8671 宮城県仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

本書の無断複写・複製(コピーなど)は著作権法上の例外を除き禁じられています。

第三者による電子データ化及び電子書籍化は、私的使用を含め一切認められておりません。